

【認定基礎研修会シラバス】 2026.4.1 更新

研修科目	訪問リハビリテーション総論	履修時間	90分
到達目標	地域における訪問リハビリテーションの役割と訪問療法士の視点を理解する。		
概要	訪問リハビリテーションとは、リハビリテーションを必要とする対象者およびその家族を、チームで連携し支援する活動である。現状のリハビリテーション医療の流れにおける生活期リハビリテーションの意義とあり方について理解し、在宅支援としての訪問リハビリテーションの役割、その基本的な考え方、視点を学ぶ。		
内容	リハビリテーション医療の流れと其中的生活期リハビリテーションの現状と役割 訪問リハビリテーションの定義と現状 訪問リハビリテーションにおけるICFの視点の重要性と生活支援 訪問リハビリテーション支援のあり方と具体的な業務について 地域包括ケアシステムにおける訪問療法士の役割		
研修科目	訪問リハビリテーションにおける医療・介護保険制度の理解	履修時間	90分
到達目標	社会情勢等の変化が制度に与える影響を考察し、訪問リハビリテーションに関する制度の変遷および最新の制度について理解を深める。		
概要	訪問リハビリテーションに関連する制度の変遷および最新の制度動向について体系的に理解し、社会情勢等の変化が制度に与える影響や、今後の制度の展望、訪問リハビリテーションのあり方について考える。さらに、訪問リハビリテーション事業所や訪問看護ステーション等によるサービス提供に関わる制度の詳細についても、実務に即した視点から学ぶ。		
内容	訪問リハビリテーションにおける法律や制度の変遷と現状 医療保険・介護保険制度の現状と実態 訪問リハビリテーション事業所・訪問看護ステーション等からの訪問の現状と課題		
研修科目	リハビリテーションマネジメント論	履修時間	90分
到達目標	リハビリテーションマネジメントの基本的な考え方と流れ（SPDCA）を理解し、訪問リハビリテーションにおける計画的な支援の進め方を習得できる。		
概要	本講義では、訪問リハビリテーションにおける支援を計画的に進めるための基本的な考え方として、リハビリテーションマネジメントを学ぶ。厚生労働省が示すSPDCA（調査・計画・実行・評価・改善）の流れに基づき、支援プロセスを適切に管理・運用する方法を学ぶ。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションマネジメントの基本的な考え方 ・SPDCAサイクルに基づく支援プロセスの理解と実践（リハビリテーション会議の進め方を含む） 		

研修科目	マナーとインタビュー	履修時間	140分
到達目標	社会人に求められるマナーを正しく理解し、実践することができる。インタビューの意義を理解し、利用者・家族の考えやニーズを適切に引き出すことができる。		
概要	ビジネスマナーや居宅訪問時の適切な振る舞いを講義で基礎を学び、実技では過去の体験を踏まえながら実践的に習得する。 コミュニケーションスキルやインタビュー（面接・面談の技法）を講義で理解を深め、実技ではグループに分かれて模擬事例を用いて実践的に習得する。		
内容	講義：80分 <ul style="list-style-type: none"> ・マナー（作法、礼儀、行儀）について ・インタビュー（面接・面談の技法）について 実技：60分 <ul style="list-style-type: none"> ・講義内容の振り返り ・講義で習得したマナーとインタビューの実践 		

研修科目	リスク管理	履修時間	90分
到達目標	訪問リハビリテーションにおけるリスク管理の基礎を理解し、主なリスクへの基本的対応ができる。在宅環境や対象者の特性を踏まえた安全配慮の視点を身につける。		
概要	訪問リハビリテーションでは限られた環境での安全確保が求められる。本講義ではリスク管理の基本、訪問現場での主なリスク（転倒・急変・感染・連携ミス など）と対応、多職種連携の重要性を理解する。		
内容	訪問リハビリテーションにおけるリスク管理の基礎と実践を学ぶ 病院・在宅の環境差を理解する 転倒・感染・急変などへの基本的対応を習得する		

研修科目	多職種協働の考え方と方法	履修時間	90分
到達目標	多職種が協働するための方法とその意義について学び、自分達の実践している多職種協働を振り返るとともに取り組むべき課題や改善点を整理する。		
概要	訪問リハビリテーションの実践では、利用者と家族の目標に向かって、多職種と協働してアプローチをすることは必須であり、良質なサービス提供のキーワードである。多職種協働の心構えから実践方法まで、事例を通してその意義を理解する。		
内容	多職種協働の目的と必要性の理解 協働の心構え 協働の実際と課題 多職種の役割		

研修科目	グループワーク	履修時間	180分
到達目標	グループ課題をとおして、他者の意見・考えを聞き、新たな気づきを得る。		
概要	「リスク管理」「多職種協働」「リハビリテーションマネジメント」をテーマに、日々の疑問や悩み、実践方法等を意見交換し、情報共有するとともに取り組めべき姿勢を理解する。		
内容	グループディスカッションとまとめ (テーマ：リスク管理、多職種協働、リハビリテーションマネジメント) プレゼンテーション フィードバック		